

## 授業科目

## 整形外科学

担当教員名 大森 豪	対象学年	2	対象学科	救急
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

## ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	○	

## 授業の概要

運動器系に関係する障害は、苦痛を伴うことが多く、また発生してからの時間経過によって予後が左右されることが少なくない。救急現場で傷病者の苦痛を軽減し、傷病者の不利益を最小限にするためには、病院前での初期対応が重要となる。

本科目では、整形外科領域（運動器系／筋・骨格系）の疾患（救急疾患）および受傷（外傷）の発症／発生機序、解剖・病態生理、症状、所見、予後等について、またそれらの観察・評価、救急時の対応等について学習する。

## 授業の目的

1. 救急救命士に必要とされる整形外科領域（運動器系／筋・骨格系）の疾患（救急疾患）、受傷（外傷）の発症／発生機序、解剖・病態生理、症状、所見、予後等について理解し、それらの観察・評価、救急時の対応等に関する専門的な基礎知識を修得する。

## 学習目標

1. 救急救命士に必要とされる整形外科領域（運動器系／筋・骨格系）の疾患（救急疾患）、受傷（外傷）の発症／発生機序、解剖・病態生理、症状、所見、予後等について理解し、それらの観察・評価、救急時の対応等に関する専門的な基礎知識を修得する。

## 授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	筋・骨格系疾患（1） 総論	講義	大森 豪
2	筋・骨格系疾患（2） 脊椎疾患	講義	大森 豪
3	筋・骨格系疾患（3） 関節疾患	講義	大森 豪
4	筋・骨格系疾患（4） 筋疾患	講義	大森 豪
5	脊椎・脊髄外傷（1） 脊椎・脊髄外傷の特徴	講義	大森 豪
6	脊椎・脊髄外傷（2） 主な脊椎・脊髄外傷1	講義	大森 豪
7	脊椎・脊髄外傷（3） 主な脊椎・脊髄外傷2	講義	大森 豪
8	脊椎・脊髄外傷（4） 脊椎・脊髄外傷における現場活動	講義	大森 豪
9	骨盤外傷（1） 骨盤外傷の特徴と主な骨盤外傷	講義	大森 豪
10	骨盤外傷（2） 骨盤外傷における現場活動	講義	大森 豪
11	四肢外傷（1） 四肢外傷の特徴	講義	大森 豪
12	四肢外傷（2） 主な四肢外傷	講義	大森 豪
13	四肢外傷（3） 四肢外傷における現場活動	講義	大森 豪
14	高齢者の外傷	講義	大森 豪
15	まとめ	講義	大森 豪

## 使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	改訂第9版 救急救命士標準テキスト 下巻	救急救命士標準テキスト編集委員会	へるす出版	2015年	9,800円+税	1年次購入済
参考書						
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。					

## 評価方法

科目試験（100%）

不合格者に対しては、1回再試験を行う。

必要な場合、レポートを課し、その結果も評価対象とする。

### **履修上の留意点**

本科目では、基本的事項を効率よく理解するために、指定の教科書を使用する。  
授業前に教科書を熟読しておくこと。授業中は、講義内容を理解し、重要な事項はその場で頭に入るように配慮した講義を行うので、ノートはとらず、メモ程度にして考えるゆとりを作る。授業後の復習も必須である。

### **オフィスアワー・連絡先**

授業時に確認すること